

TV **ブラッドラッド**

毎週／日 深夜0:30-1:00 tvkほか

WEB http://bloodlad.jp/

illustrated by KENJI FUJIZAKI, finished by MIKI TACHIBANA
background by MASAKI MAYUZUMI, composite by SHINICHIRO TACHI
layout by SHIGEYUKI MIYA, text by SHOWTARO MIYA

一触即発の三角関係（トライアングル）

キケンな少年たちがきょうも騒ぎを

血は水よりも濃い――というのは、古来から伝わることわざのひとつだが、主人公のスタズには、その名も「血」という名の兄がいる。魔界の片隅でナワバリボスなどというチンケな生業をしているスタズとは違って、兄のブラッズは上級魔族に名前を連ねる、魔界の重要メンバー。黒いマントを羽織ったそのスタイルも、いかにも正統派の「吸血鬼」だ。

優秀な兄とアウトローな弟。見た目だけでなく、生き方からして水と油といったこの兄弟だが、古今東西の魔術を研究しているというブラッズに聞けば、冬実を生き返らせる方法もすぐにわかりそうなもの。しかし、スタズにはどうしても兄と顔を合わせたくない理由があるらしい。しかもその理由とはスタズ自身の能力にかかわるものらしいのだが……。いったい2人の間に何があったのか。そして、沈着な兄と無責任な弟が再会したとき、何が起こるのか？ 2人の因縁も『ブラッドラッド』の鍵を握ることになりそうだ。

そしてスタズと対立するのは、優秀な兄ばかりではない。スタズと同じく西魔界でナワバリボスを張るウルフ。彼は、スタズが魔界にやってきたころからの知り合い。数多くの部下を率いる男気あふれる性格で、なにより、自分より強い相手とケンカすることが生きがいという。触れたらヤケドしてしまいそうなヒートガイ。クールというより熱血漢なスタズとは、性格が完全に正反対なのだ。そんな2人が顔を合わせる日には「血」を見る展開になることは間違いない。

はたしてスタズはこの2人とどう対峙するのか。そしてその勝負の行方は？ 闘争の火花が魔界の暗闇に激しくはじけ、乱れ飛ぶ。









スタズの敵は魔族ばかりじゃない!? ある日、スタズのナワバリに迷い込んできた人間の少女・柊冬実。彼女とひと目会ったそのとき、スタズはこれまで感じたことがないほどの「ドキドキ」を感じる。その後、彼女が幽霊になってしまった後も、彼女の体を取り戻すため奮闘するスタズ。彼を突き動かしているのは恋……なのか?

スタズ 魔族 V.S. 冬実 人間



V.S. ハイドラ・ベル

危険な場所にも単身乗り込みお宝を見つけ出す女性トレジャーハンター。その素顔は人間界と魔界の両方に知れ渡っているほどだが、どうしてスタズの前に現れたのだろうか?

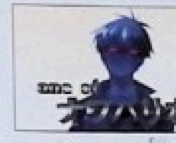


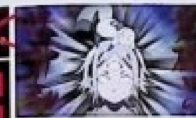
V.S. ……?

全身から真っ赤なオーラを放った謎の人物。よく目をこらすとボーダーのシャツを着用。そしてツンツンに尖らせた髪型は、どこかで見覚えがあるような気がするのだが……



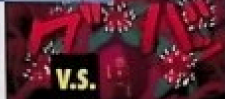
スタズ 魔族 V.S. スタズ以外 魔族



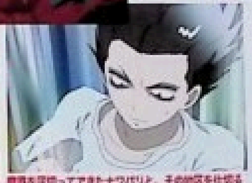


V.S. 仲間たち

"ナワバリボス"のスタズのまわりには、魔界のナンバー2・デク、喫茶店「サードアイ」のマスターであるサティと相棒の狂次郎などにぎやかな面々がズラリと顔をそろえる









V.S. ナワバリ破り

魔界を区切ってできたナワバリと、その地区を仕切るトップであるナワバリボス。スタズは東魔界のナワバリボスだが、絶大な権力を握っているだけに、その力を狙う者も多い。第1回ではさっそくそんなナワバリ荒らしが登場したが、スタズは相手を瞬殺してしまう

自分の"ナワバリ"で日々ダラダラしていればよかったハズだった。ゲームやアニメにうつつを抜かし、たまに外に出てもなじみの喫茶店で大騒ぎ。そんなダメ魔族・スタズに転機をもたらしたのは、ひとりの人間の少女、柊冬実の登場だった。

ひと目会ったその日から――恋の花かどうかはわからないけれど、何かが確実に"咲いて"しまったスタズ。魔界に来るやいなやすぐに死んでしまった冬実を復活させるため、彼は動きはじめることになる。

人間界と魔界をつなぐ、上級魔族だけに使用が許されているという"ブラックカーテン"。そのヒラヒラとひらめくカーテンをくぐって、その先にある未知なる世界へ。そこで彼と冬実を待っているのは、プライドをかけた男同士のファイトクラブとみずからの"血"の因縁をめぐる複雑怪奇な宿命の糸。張りめぐらされた策略をくぐり抜けて、スタズと仲間たちの物語は今、加速を始める。

恋心、ダイレクトに

気づいたら笑顔になってしまう挑戦曲



「最初にメロディだけ聞いたとき、すぐにスタズの姿が思い浮かんできて、男性的な曲なのかな?って思ってたんです。でも歌詞を読ませていただいたら、かなり乙女チックな内容で(笑)。そこにまず驚きました」

そう語るのは、本作のエンディングテーマ「BLOODY HOLIC」を歌う南里侑香。恋する女の子の心情を真正面から歌うことは、彼女にとっても挑戦だったようだ。

「最初はやっぱり、ちょっと恥ずかしかったです(笑)。メロディは力強いのに、歌詞はかわいらしくて。そこでどう折り合いをつけていいのか、悩んでいたんですけど……。でも、素直な気持ちで歌詞を読み直したら、自分にもどこかしら似たような経験があるかもしれないと思って、そこを意識しながら歌ってみようと。これまでアニメのテーマソングというと、自分の頭のなかで作品の世界観を膨らませて、どこか演じてるような気持ちで歌うことが多かったので最初はいろいろ悩んでいたんですけど、最後の方はわりとストレートに歌ってて……。だんだん歌ってるのが楽しくなってきて、気づいたらいつのまにか笑顔になっていました(笑)」

曲の中では、なかなか「好き」と言えない少女の気持ちが描かれているが、南里自身は「様子を見ながら、言える相手だったら言っちゃうかもしれないですね。

「相手がスタズさんだったら、言えちゃうかもしれない。結果がどうであれ、告白した後もわりと普通に接してくれそうだし……。わからないですけど(笑)」

また彼女はリズ役として本作への出演も決まっている。

「本編で登場するのはもう少し先なのですが、リハーサル用のVTRを部屋で見てて、大爆笑しちゃいました(笑)。カッコいいところと面白いところのメリハリがすごくて。いったいどんな作品になっていくのか、私自身も今からすごく楽しみにしています」



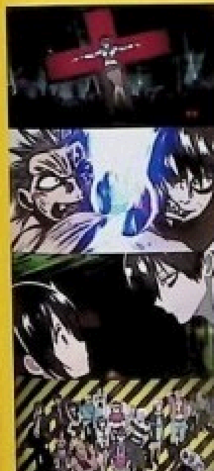
●なんり・ゆうか/ブラッドラッドのEDを歌って、8月9日に開催される「ANIME JAPAN FES 2013」に参加。また、9月14日に開催される「MUSIC ENERGY 2013」にも出演決定。詳細は公式ブログにて http://ameblo.jp/nanri-yuuka/

「BLOODY HOLIC」 フライングドッグ/VTCL-35156 税込1155円/8月7日発売

ED BLOODY HOLIC 南里侑香

自分色に染まれ!

色鮮やかな雰囲気を楽しんでもらいたい



「ブラッドラッド」のオープニングを飾る、新曲「ViViD」を耳にした人は――特にこれまでのMay'nのファンは、もしかすると驚くことになるかもしれない。

「最初に原作を読ませていただいたときには、アグレッシブなロックチューンをイメージしていました。でも『ブラッドラッド』にはクスッと笑えるところや、コミカルな要素もたくさん詰め込まれている。そういう雰囲気を楽曲にも取り入れられたらな、と思いました」

そうして完成した曲は、これまでの彼女自身の硬質なイメージを脱ぎ捨てた一曲。どこか軽やかさを感じさせる、ポップな印象だ。

「タイトルの『ViViD』というのは色のことなのですが、曲の中にもいろいろな色のイメージがたくさん入っていて。主人公のスタズは『誰に何を言われても、自分の色に染めてやるんだ』という、すごく前向きな想いをもっていると思うんです。そういう強い想いを、聞いている皆さんにも届けたいと思いました。強さや[illegible]らしさを聞いている人に感じていただきたいなと、どこか荒っぽさを意識して歌っているところもあります」

また目まぐるしく変わる曲調も特徴的だ。

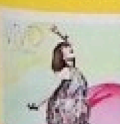
「レコーディングはすごく難しかったです。全体をひとつの曲として、とおして歌うのが大変で。でも、ひとつの流れをつくるというよりは、いろいろな表情だったり歌い方があっていいと思いました。そういうコロコロ変わっていく曲の表情を楽しんでいただけるとうれしいです」

そんなMay'nの「ブラドラ」いちばんのお気に入りは、スタズとブラッズの妹であるリズ。

「もう、リズひと筋です(笑)。大好きなお兄ちゃんのどちらも好きだけど、どうして私のことを見てくれないんだろう?と悩んでいて。そういうせつないシーンには胸がキュンとしちゃうんです(笑)。原作のファンとして、あのシーンがどう描かれるのか、今から楽しみにしています」

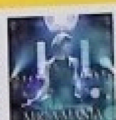


●めいん/6月に開催されたアコースティックライブも盛況のうちに終了。10月26日よりMay'n Hall Tour 2013「LIVE|CAVE|DIVE」が開催決定。詳細は公式サイトにて http://mayn.jp/ (連載P.158に掲載)



「ViViD」

フライングドッグ/DVD付限定盤 VTZL-66 税込1890円/通常盤 VTCL-35155 税込1260円/7月24日発売



3月2日に開催された武道館ライブが収録されたBlu-rayが同日発売!

May'n Special Concert 2013 BD「MIC-A-MANIA」at BUDOKAN

ホリプロ/HPBL-1 税込7350円/7月24日発売

OP ViViD May'n